

議会だより

平成19年11月1日
発行/関川村議会
発行/議長 近 良平
責任者
編集/広報対策
特別委員会

〒959 3292 新潟県岩船郡関川村大字下関912番地 TEL(0254)64-1494(直通)
FAX(0254)64-3006



秋を満喫

みんなでがんばって越えたよ

関小学校 米沢街道十三峠「宇津峠越え」(10月10日)

9月定例会報告

一般質問 3名登壇

平成18年度決算審査特別委員会報告

村民の声

(議会だよりは村ホームページの議会事務局上に掲載しています)

【9月定例会】

子どもの医療費助成を 拡大する条例を可決

通院 5歳 小学校就学前まで
入院 小学校就学前 小学校修了まで



平成十九年第九回関川村議会定例会が九月十一日から二十一日まで十一日間の会期で開催されました。村長の招集の挨拶に続き、三議員が一般質問に立ち、村長の考えをたどりました。
提案された議案は、報告一件、条例改正三件、村道路線廃止等四件、補正予算五件、人事案件一件、請願一件、陳情五件で、いずれも可決、同意、採択されました。
平成十八年度決算認定については、決算審査特別委員会（委員長中倉虎治）を設置し、二分科会で集中審議され、最終日に委員長から報告があり、全て原案どおり認定されました。

一般会計補正予算

総務費

役場庁舎トイレ改修等
百十九万三千円

不動産鑑定評価委託料
二百九十一万九千円

民生費

保育士臨時雇用賃金
二百七十三万円

衛生費

医療費助成事業費（少子対策）
百十六万一千円

合併処理浄化槽設置補助金
二百八十五万円

農林水産業費

新潟県農林水産業総合振興事業補助金
二百七万三千円

事業主体（農）上関ふあーむ
畜産トップブランド確立対策事業補助金
十五万円

松平畜産団地排水管路修理
三十六万九千円

越後杉ブランド安定供給モデル事業補助金
四十四万六千円

商工労働費

わかぶな高原スキー場補助金
一千五十万円

都市との交流事業費
三十六万二千元

地域文化交流施設「ちぐら」管理委託料
百三万円

土木費

小規模急傾斜地崩壊防止対策事業工事費（6・29豪雨）
九十万円

下水道特別会計繰出金
一億一千四百九十五万円

教育費

小・中学校図書購入費
四十万円

関川中学校屋内体育館耐震診断
百五万円

英会話教室講師謝金
十一万一千円

村民会館修繕料

四十万円

体育館バスケットボード

取替工事

二十五万円

災害復旧費

林道災害復旧事業工事請負費
百万円

特別会計 補正予算

国民健康保険事業特別会計

療養給付費等負担金の返還額の確定によるもの
千百十九万四千円

宅地等造成特別会計

第四期分譲地契約解除に伴う還付金等
五百七十八万七千円

簡易水道特別会計

消費税の調整による増六十三万四千円

公共下水道事業特別会計
下水道事業債から過疎対策事業債に振り替えたこと

による増

四百五十万円

条例

関川村職員の育児休業等に関する条例の一部改正

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に準じ、育児休業をした職員の職務復帰後における号給の調整などに関する規定の改正です。

関川村乳児の医療費助成に関する条例の一部改正

次の関川村乳児の医療費助成に関する条例の一部改正に伴い、条文の文言を改正するものです。

関川村幼児の医療費助成に関する条例の一部改正

十月から新潟県の幼児医療費助成制度が改正され、助成の対象年齢が拡大されます。これに伴い、村でも

県補助対象外の通院助成を拡大するものです。

対象期間は、通院で一歳から小学校就学前までで、自己負担額は、外来一回につき五百三十円（一カ月四回まで負担、五回目以降は無料）です。入院では一歳から小学校修了までで、自己負担額は、入院一日につき

千二百円（食事代等は別）です。

九ヶ谷郷六九号線の変更環境省が主体の鷹ノ巣野営場整備に伴い、キャンプ場内の遊歩道などを村道から外すものです。

新潟県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について

新潟県市町村総合事務組合に新潟県後期高齢者医療広域連合を加入させ、これに伴う規約の変更の報告がありました。

村の地域交流や企業誘致等に関する政策を全力で支援するとともに、早期にこれを実現することを強く要望する決議案

議会が沼共有土地賃貸借契約書の検閲を行うことを求める決議案

村道変更

九ヶ谷郷六九号線の変更

環境省が主体の鷹ノ巣野営場整備に伴い、キャンプ場内の遊歩道などを村道から外すものです。

専決処分

新潟県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の変更について

新潟県市町村総合事務組合に新潟県後期高齢者医療広域連合を加入させ、これに伴う規約の変更の報告がありました。

村の地域交流や企業誘致等に関する政策を全力で支援するとともに、早期にこれを実現することを強く要望する決議案

議会が沼共有土地賃貸借契約書の検閲を行うことを求める決議案

請願・陳情

たばこ販売組合への助成に関する請願

私立高校への公費（私学助成）拡充で、学費と教育条件の公私格差是正を求める意見書の採択を求める陳情

関川村統合小学校の建設に際し、地元木材の活用を求める陳情

品目横断的経営安定対策の見直しと、多様な担い手の育成を求める陳情

飼料価格の高騰による農家負担の軽減と、国産飼料の増産、循環型畜産の発展を図る施策を求める陳情

アメリカ産牛肉の輸入条件の緩和に反対し、全頭検査への予算措置の継続を求める陳情

産業建設常任委員会

調査特別委員会

地域交流及び企業誘致等

委員 高橋 八男

副委員長 渡辺 健作

委員 須貝 謙一

委員 中倉 虎治

委員 近 良平

委員 山口 和夫

議会の構成

八月一日から議員定数が二名減の十二名となり、新しい村議会がスタートしました。

八月一日の初議会では、議長、副議長の選挙や、各委員会委員、監査委員の選任などが行われました。

議員の任期は八月一日から、平成二十三年七月三十一日までです。

なお、各常任委員及び議会運営委員の任期は、委員会条例の規定により、二年間となっています。

正副議長

議長 近 良平

副議長 大沼 久夫

各委員会委員

総務厚生常任委員会

委員 渡辺 秀雄

委員 伊藤 理助

委員 平田 ゆかり

委員 津野 庄衛

委員 大沼 久夫

委員 山口 好郎

副委員長 須貝 謙一

委員 渡辺 秀雄

委員 高橋 八男

委員 大沼 久夫

委員 須貝 謙一

委員 津野 庄衛

委員 高橋 八男

委員 山口 和夫

委員 須貝 謙一

委員 渡辺 秀雄

委員 高橋 八男

副委員長 山口 和夫

委員 須貝 謙一

委員 渡辺 秀雄

委員 高橋 八男

委員 山口 和夫

委員 須貝 謙一

委員 渡辺 秀雄

委員 高橋 八男

同 意

関川村教育委員会委員の任命

任期満了により引き続き、高橋正衛さん（大石）の選任に同意しました。

議会運営委員会

委員 伊藤 理助

委員 山口 好郎

一般質問

一、国民健康保険の支援交付金について

地産地消の健康づくり事業を検討

渡辺秀雄 議員



問 県は健康増進事業の促進誘導策として、市町村の取組みを採点し優良自治体に優先配分する支援交付金制度を採用していますが本村は前年度、県内三十五市町村中十六位でしたが評価を上げるために工夫した施策をお伺いします。

村長 一つ目は受動喫煙防止対策を進め、村が管理する施設の空間分煙以上の対策を平成十八年四月一日現在で二十七施設中、二十二施設の実施をしています。

二つ目は医療の適正受診への勧奨などをすすめました。レセプトの活用、重複

れています。

本村でも温泉旅館がたくさんあり、旅館組合と連携を密にして他の市町村の良いところを積極的に取り入れた方がよいと思いますが、村の今後の施策についてお伺いします。

頻回受診者への指導などを進めまして、適正受診への勧奨の項目では満点をいただきました。

問 新発田市の二〇〇五年度は本村と同じ百五十点の評価でしたが、二〇〇六年度は百八十五点と大きく改善されました。その内容は温泉旅館と連携し、入浴や運動、食事を組み合わせた健康プログラムを実施したモデル的な取組みと評価さ

一、東桂苑前水路の安全対策について

通学路でもあり関係者にも相談し検討

渡辺健作 議員



問 東桂苑前の村道は通学路ですが、現状の安全対策では不十分と思われる。去る六月には関小学校の児童が自転車で用水路に転落し、入院する大けがを負いました。過去にも大勢の方

が転落しています。

村長は今年度の施政方針の中で、村政の基本的な考え方として安全・安心の村づくりを三つの柱の一つに掲げていますが、東桂苑前用水路は景観を優先するあまり安全対策を怠ってはいなかったか、今後安全対策を実施する考えはあるのかお伺いします。

村長 安全対策を怠ってきただけではありません。この道路は米沢街道の一部で、県が歴史的価値を評価し、新潟の顔づくり事業として「越後下関柳とせせらぎ通り」が平成十四年に完成しました。当初は縁石は設置されていませんでしたが、現在は交通安全の面から縁石を設置しています。この道路は通学路でもあり、学校当局、PTA、関係する方々にも安全対策について相談し検討したいと考えています。

問 東桂苑の杉垣が道路にはみ出ているので、車のすれ違いができません。道路を広くする意味からも用水路に蓋をする考えはありませんか。

村長 杉垣については、管理の状況を見て安全のために整備することは可能ですが、蓋をするのは除雪の関係や、米沢街道の保存など景観の問題で不可能だと考えます。

問 蓋をするのが不可能ということですが、安全を優先するのが行政の責任です。景観を考慮するならば、せめて擬木の安全柵程度は是非設置してもらいたいと思います。

村長 擬木の場合も問題

二、中学校の通学状況について

集落により、バス・自転車・徒歩

問 スクールバス、自転車、徒歩通学について、それぞれの集落ごとの区分と、徒歩通学の生徒が自転車通学を禁止されている理由をお伺いします。

教育長 バス通学は、九ヶ谷地区の金丸から大内淵まで、女川地区の田麦千刈から上野原まで、生徒数四十四名。徒歩通学は、雲母、上関、下関で生徒数六十名。その他の集落は自転車通学で生徒数九十九名と

点があるので、検討させてもらいます。



東桂苑前道路

なっており、荒川町から一名通学しているので、生徒数の合計は二百四名です。バス通学のとらえかたとして関川中学校を基点に半径二キロメートル以上とし、スクールバスで対応が困難な長距離地区を自転車通学と決めています。

自転車通学の禁止は校則で決めているのではなく、PTAとの協議による申し合わせです。

一、村の財政指数を好転させる、具体的方策は 人件費、起債事業等の抑制を図る

津野庄衛 議員



問 財政力指数の低下、経常収支比率の増加、起債制限比率が悪化しています。そこで次の点をお伺いします。

①財政力指数は、基準財政需要額と基準財政収入額との関係で、需要額が減って収入額が増えると好転します。経常収支比率は税収等の自主財源を多くし、経常経費を抑えることで好転します。今後、村では自主財源確保策、また、歳出面ではどのような経常経費の減少策を考えているかお伺いします。

金償還がはじまり、財政を圧迫することが予想されます。起債の返還計画と好転策をお伺いします。

村長 ①財政力指数は財政運営に直接関係が少ないもので、税収が多ければその二五%が財源となります。経常収支比率は、国、県の補助事業等が減少すれば比率は上昇の傾向になります。経常経費削減については、人件費等切り詰め、ぎりぎりの段階ですが、今後もう一層努力しなければなりません。人件費は郡市内で一番低いですが、学校等が多いため物件費が高く、また、除雪経費、道路補修等で維持補修費も高く、さらに、これまでの事業のため過疎対策事業債等の償還金が多いため、経常収支比率が高くなっています。

②起債制限比率については事業を抑制することで低くなりますが、統合小学校の建設がありますので、起債事業にも限界があります。

総務省が発表した過去三年間の実質公債費比率によれば県平均が一七%でしたが本村は一六・八%でした。地方債の発行は総務省及び

二、農業振興の実態について

担い手・法人化は進んでいるが集落営農組織はできていない

問 本村の担い手、集落営農、農業経営の法人化の実態と企業の農業参入についてのお考えをお伺いします。

村長 各集落や地区営農委員会から担い手となる農業者二百八十二名が推薦され、認定農業者は百二十六名です。また集落営農組織に取り組み集落がないのが現状です。農業法人は十二あります。品目横断的安定対策に加入した経営体は、法人を含め六十五あります。

集落営農については、財三「農地・水・環境保全向上対策事業」の取り組み実態について

十三集落・約二百五十ヘクタールで実施

問 「農地・水・環境保全向上対策事業」の取り組み実態と国、県からの補助額、活動内容についてお伺いします。

村長 今年度は十三集落で実施予定で、地域協議会を

活動は基礎部分と誘導部分に分けられ、点検、準備、計画、啓発、実践活動があります。基礎については江津・草刈・農道補修等全ての地区で必要条件となっています。誘導についてはテーマを選択して国が決めた活動を半分以上実施しなければなりません。

四、学力向上対策は

テストの精査により継続して取り組み

問 子どもたちの学力低下が懸念されています。先の実施しました全国学力テストの結果について、国・県との比較はどうであったか。

また、「ゆとり」から、「確かな学力」に転換されますが、授業時数が減るなかでの学力向上策についてお伺いします。

村長 今年度は十三集落で実施予定で、地域協議会を千八百円です。

平成18年度

決算審査特別委員会

委員長 中倉 虎治 ・ 副委員長 津野 庄衛

平成十九年九月十一日「平成十八年度決算審査特別委員会」に付託され、各分科会で分割審査を行った内容は次のとおりです。

第一分科会

一般会計

歳入

問 安角山の杉を拓伐した面積は。

答 約六町歩です。

問 土地売却収入で三葉住宅跡地と関川村郷土工芸センター跡地の払下げ坪単価はいくらか。

答 三葉住宅跡地は坪七万円、関川村郷土工芸センター跡地は六万六千円です。

問 行方不明者捜索費実費徴収金の内訳は。

答 山の会等への日当、交通費、食事代などです。

総務費

問 廃止路線代替バス運行費を補助しているが、土曜、休日の運行をしない理由は。

答 年四回、一週ずつ乗降

客調査を行っており、土、日、休日の利用客がほとんどなかったため運休としました。

問 廃止路線代替バスを廃止し、村で運行できないか。

答 平成二十二年度の小学校統合までに、現在の利便性を落とさず経費を削減できるような交通体系を検討しています。

問 広報無線設備保守点検の委託先は。

答 (株)東芝です。

民生費

問 心身障害者福祉タクシー助成の内容は。

答 初乗り運賃(六百十円)十二回分のタクシー券を交付しています。

問 老人保護措置費千五百十九万二千円に対し、利用者からの負担割合はどのくらいか。

答 利用者の所得によって料金が設定されていますが、全体での利用者負担額は百七十五万五千円です。

教育費

問 小学校のアスベスト対策工事は平成十八年度で終了したのか。

答 アスベストを使用していると思われる箇所はありますが、外部に漏れる心配はない所なので終了しました。

問 関小学校耐力調査業務委託の目的は。

答 統合小学校を補助事業で建築する際に関小学校は耐力度的に利用できないことを証明するための業務委託です。

問 せきかわ歴史とみちの館の損益状況は。

答 平成十八年度の入館料約九十四万円に対し、管理費は約九百八十万円ですが、設置目的は、考古、歴史、芸術、民族、自然等に関する資料の収集保管及び展示、また資料の調査研究、学術並びに芸術の企画展示に関するものであるため、各種事業を開催し入館者増に努めています。

国民健康保険

診療所特別会計

問 村と診療所医師との健康づくりや病気予防に対する取り組み状況は。

答 予防接種や学校医としてもお願いしています。問 診療所では院外、院内処方どちらを採用か。答 基本的には院内処方ですが、希望者には院外処方もしています。



せきかわ歴史とみちの館

介護保険事業 特別会計

問 紙おむつ給付事業の内容
容は。
答 前年度の村民税が非課
税で介護認定を受けている
方かつ、おむつを常時必要
としている方に対し、月三

千円券を発行しています。

問 緊急通報設置事業の内
容は。
答 一人暮らし老人で病弱
な方等が、緊急時に岩船地
域広域事務組合消防署へつ
ながるシステムで、連絡を
受けて協力員が本人宅へ駆
けつけ対応する事業です。

第二分科会

一般会計

農林水産業費

問 農業連絡事務委託料に
農協から集落に委託してい
る分は含まれているか。
答 含まれていません。農
協の分は農協から支払われ
ています。

問 若ぶな高原牧場管理費
の土地借上料の端数は。
答 共有地の借地料で、一
部地権者分を分けて支払っ
ており、その結果の端数で
す。
問 若ぶな高原牧場管理費
で支出されている主な経費

商工労働費

問 商工会は県等の補助を
受け、貯蓄も十分と聞いて
いる。他団体の補助金は見
直されているなか、村商工
会補助金はどうなっている
か。
答 他団体と同じく補助金
の見直しを検討しましたが、
会員の減少等で経営も厳し
いと聞いており、平成十九
年度予算は同額補助としま
した。

問 (財)自然環境管理公社に
村有観光施設管理委託料を



わかぶな高原スキー場

土木費

支払って観光施設等を管理
させているが、四人の職員
には金額に見合うだけの仕
事量があるのか。
答 三人は事務、一人は施
設の維持管理のため現場専
門で休日出勤も多いです。

問 平成十八年度は少雪で
あったが、消雪施設の光熱
水費が多額の支出になって
いるのはなぜか。

村有温泉 特別会計

問 積雪量に関わらず、電
気料の基本料金や凍結防止
に水を出さなければならな
い場合などがありました。

問 現在借り入れしている
村債の利率の状況は。
答 三件とも全て四パーセ
ント以下の利率で借り入れ
ています。

公共下水道事業 特別会計

問 使用料の滞納は。
答 二十六万二千二百四十
七円です。

農業集落排水事業 特別会計

問 使用料の滞納は。
答 ありません。

水道事業会計

問 資本的支出の工事費に
比べ、委託料が高額となっ
ている理由は。
答 平成十九年度に工事を
行う分の設計委託を含んで
います。



公共下水道整備(沢地内)

村民の声

「幸せと感じたひととき」

近 祐治さん
(上 関)



【二月下旬のある日の朝】
カメラを持って荒川対岸（松平側）に足を運んだ。対岸から私の住んでいる上関方面を眺めてみたいと思っただけ。子供の頃、川の向こう側はどんなふうになっているのかな」と不思議であり、幼な心について行って確かめてみたいとの思いがあった。そんなことをふと思いつき、馳せる思いで出かけた。驚いた。素晴らしい景色だ。感動した。立木の間から見た光景は、上関城跡・城山の麓に堤防で囲まれた上関集落、温泉橋と獅子舞岩、鷹の巣山に雪の若樺山と立烏帽子、その奥に杵差岳がそびえ立つ。川辺に目をやるとサギが一羽じつと身動きもせず立っている。鴨が魚を狙ってか時折水面に首を沈め、流れに任せながら泳いでいる。日本一きれいな荒川とその景色、水鳥の光景を見たとき何となくすがすがしい気分であった。こんな素晴らしい自然を持つ村に今、俺は住んでいるんだと実感し、幸せを感じた瞬間であった。

【九月下旬ある日の夕方】
裏の土手（荒川の堤防）から見る夕焼けがきれいだ。さまざまな模様を描いて飽きることはない真赤な空。朴坂山、薬師山のシルエット、コブ二つ。堤防が緩やかに曲がって山あいにはフェードアウト。河川敷に降りススキの穂を片隅に入れて写真を一枚、草の葉を入れてもう一枚。太陽が沈んでからの空も見ていて飽きない。こんな時間を過ごしていられることが幸せと思う。
【十月初旬ある日の朝】
荒川河川敷のコスモス畑

は真盛り。白、赤、ピンクのじゅつたんとは化している。近くに寄って良く見ると花びらの一枚一枚がどの花びらにも負けない模様、色彩をしていて個性的で、自己主張している。見ていて飽きない。温泉橋に目を向けると湯沢方面の山あいには白い雲が立ち上り、のどかでふんわりした空間を醸しだしている。なんと素晴らしい景色なのだろう。自然の美しさを体感しながら心安らぎ、ゆつたりとした気持ちになった。幸せと感じたひとときであった。



湯沢から温泉橋を望む

編集後記

改選後、最初の定例会が開催されました。前期より二名減の十二名全員が出席し開会しました。

平成十八年度一般会計決算は、歳入額四十五億七千五百万円、歳出額四十四億九千八百万円、繰越財源千四百万円、差引額六千三百万円となり、承認されました。実質公債費比率も前年度より〇・五ポイント下がりが一六・七％で推移しています。

九月の中頃よりはじまった稲刈りも十月にはいってほぼ終了し、農家にとっても一段落したところですが、米作りの将来はまだまだ厳しさが続きそうです。

十一月にはいると村の、いろいろなイベントが計画されています。村内外から多くの方に参加していただきたいと思います。

広報委員も新しくなりました。おおぜいの皆さんに読んでいただけるように頑張りますのでよろしくお願ひします。
渡辺(健)